

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



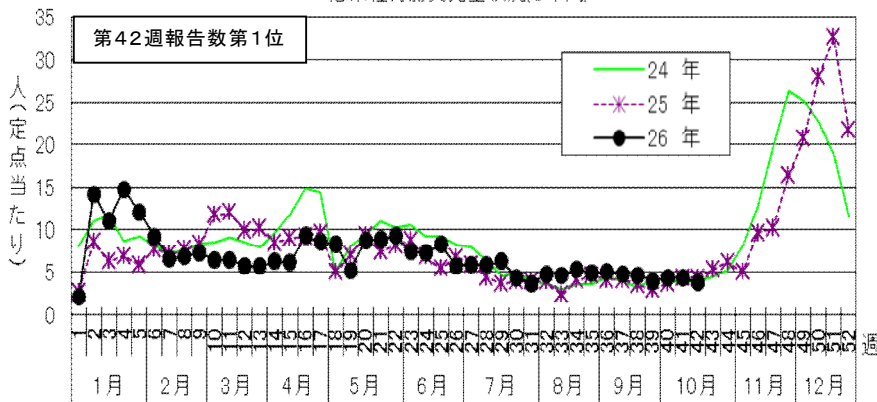
KAWASAKI CITY

平成26年10月13日（月）～平成26年10月19日（日）〔平成26年第42週〕の感染症発生状況

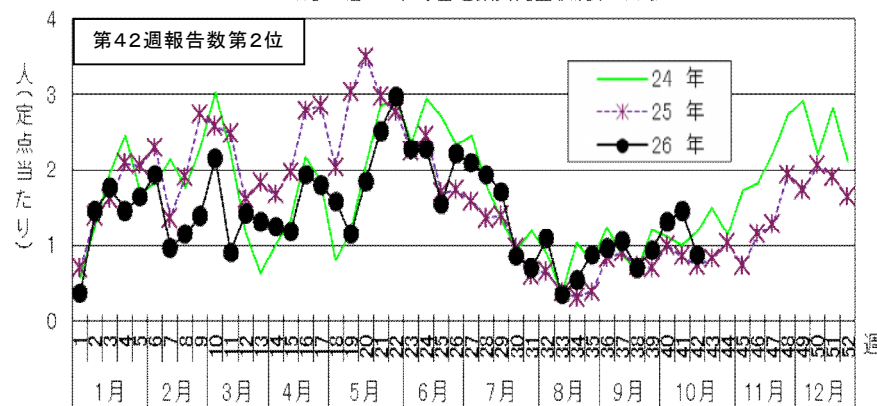
第42週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.79人と前週（4.39）から減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.88人と前週（1.45）から減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。
 水痘の定点当たり患者報告数は0.61人と前週（0.70）から減少し、例年とほぼ同じレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



「咳エチケット」守っていますか！？

これから冬に向けて、インフルエンザやRSウイルス感染症などの流行が予測されます。これらの感染症にかかった場合には、家庭や職場、公共の場での感染拡大を防ぐために、「咳エチケット」を実践しましょう。

咳エチケットとは？

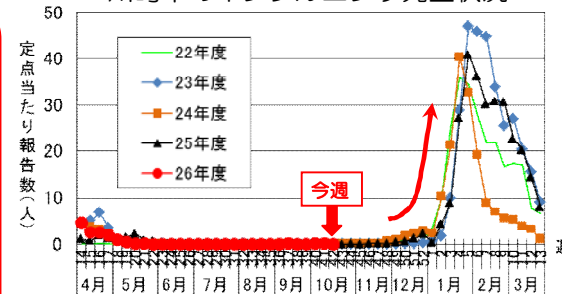
咳やくしゃみでウイルスが飛び散るのを防ぎ、他人にうつさないようにする感染拡大防止マナーのことです。



みんなで実践！～咳エチケット～

- 咳・くしゃみの際、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他人から顔をそむけ1m以上離れる。
- 鼻汁・痰(たん)などを含んだティッシュは、すぐに蓋付きのごみ箱に捨てる。
- 咳をしている人にマスクの着用を促す。
- マスクは説明書を読んで、正しく着用する。

川崎市のインフルエンザ発生状況



川崎市のRSウイルス感染症発生状況

